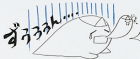


故人との思い出の取り扱い

故人を思い出す時は、故人としても嬉しい事だろう。

しかし

- ◎ 思い出してどうしても涙れがち…。 (🙏 忘れないで!)
- ◎ 遺品 (特に写真や好きだったCDなど) って涙山とっておきたいけど場所とるんだよね。 (😓 申しわけない)
- ◎ 遺品はたくさんあると邪魔だから捨てよう。 (🤔 そ、そんな!!)



いくら死んだから、辛いです…。

そのような中で何があってもずっと大切にされているものがある。

故人の云々のよりしろ、**位牌**です。

位牌にはいくつか種類があります。

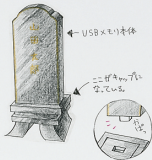
野位牌、内位牌、本位牌などです。

- ・葬儀の際は野位牌と内位牌が用意され、ともに白木のまま祭壇上に安置されます。
- ・野位牌は葬儀終了後墓地におかれます。
- ・内位牌は四十九日忌の忌明けまで小さな祭壇上にまつられます。
- ・この間に仏壇にまつる黒塗りや朱塗りなどの本位牌をつくります。

つまり本位牌ほどこ人も追いやられず毎日目につくものである!

そこで考えたのが!

位牌の新しいカタチ



◆とくちょう◆

- ・ 位牌がフラッシュメモリになっているので、どうしてもかさばりがちな故人との思い出の写真やCDのデータを一か所にまとめられる!
- ・ 本位牌をフラッシュメモリにする事で、気になった時に押し入れから引っ張り出さずいつでも中身を見れる!
- ・ 位牌だから絶対になくさない!

こうゆう事もできる!

- ・おぼんに親せきを誘って鑑賞会
- ・アナログ写真をスキャナでとり込めば
もし写真をなくしても安心!



これできると故人もおぼんに気持ちよく

帰ってこれるでしょう